

Sumitomo Mitsui Banking Corporation Brazil DAILY MARKET REPORT



Treasury Department

マーケットサマリー

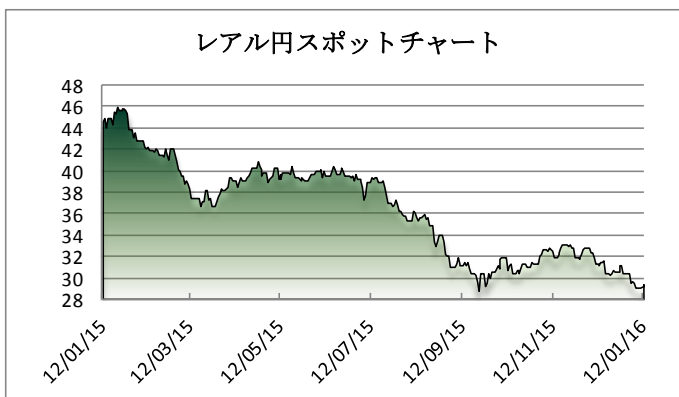
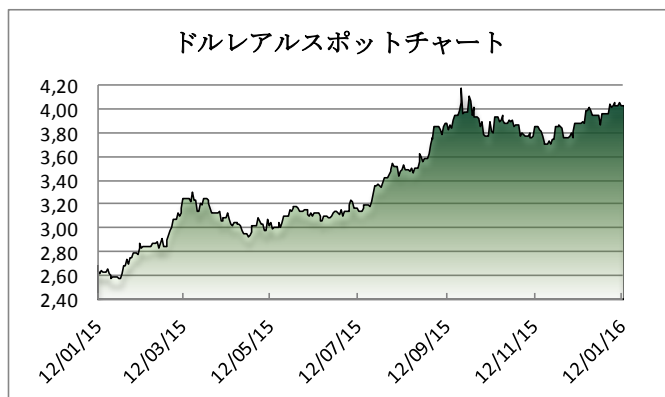
引き続きマーケットの主役は中国の市場混乱。昨日のドルレアルスポット相場は、原油価格の下落(WTI先物は12年ぶりに30ドルを割り込む)も相まって、一時4.06台前半までレアル安が進行。ボベスパ指数も前日比1.1%安を記録するなど、年明け以降中国経済の混乱と歩調を合わせる形でブラジル資産の軟調な動きが顕著となっている。12日のアジア時間では、中国人民銀行が人民元相場を安定化させる取り組みを強化した(香港オフショア人民元市場で元買い介入を行った模様)こともあり、一時マイナス圏へ沈んでいた上海総合指数も引けにかけては水準を回復させたが(前日比0.2%高)、投資家のリスクセンチメントが後退していることを踏まえると、目先はレアルを含む中南米通貨が弱含む展開が続くと予想される。加えて、FOMCによる追加利上げ観測も中南米通貨の圧迫要因になり得る。国際通貨基金(IMF)のラガルド専務は昨日、FRBと欧州中央銀行(ECB)・日本銀行との間の金融政策乖離が続けば、「ドルはさらに上昇する可能性がある」と発言した。

ブラジルのボベスパ指数は5営業日続落(5日間の下げとしては約1年ぶりの大きさ)となったが、特に原油相場下落に伴う生産予測の下方修正を受け、ペトロブラス株が前日比9.2%安と大幅に下落した。

マーケットデータ

Indicator		Unit	1月11日	1月12日	前日比	12月11日	1ヶ月前比
レアル	対ドル	BRL	4,0536	4,0277	-0,0259	3,8728	+0,1549
	対円	JPY	29,05	29,20	+0,15	31,24	-2,04
	対ユーロ	BRL	4,4090	4,3703	-0,0387	4,2566	+0,1137
円	対ドル	JPY	117,76	117,65	-0,1100	121,01	-3,3600
	対ユーロ	JPY	127,87	127,74	-0,13	132,93	-5,19
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	39.950	39.514	-436	45.263	-5.749
CDS Brazil 5yrs (クレジットデフォルトスワップ)		bps	487,0	485,6	-1,4	479,1	+6,5
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	16,19	16,16	-0,03	15,89	+0,27
DI Future Apr17 (金利先物)		%	15,84	15,77	-0,07	16,18	-0,41
3 Months US Dollar Libor		%	0,622	0,622	+0,000	0,512	+0,110
CRB Index (国際商品指数)		Index	164,2	162,1	-2,1	174,9	-12,8

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。